

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年9月9日 (2010.9.9)

【公表番号】特表2010-504411(P2010-504411A)
 【公表日】平成22年2月12日 (2010.2.12)
 【年通号数】公開・登録公報2010-006
 【出願番号】特願2009-529412(P2009-529412)
 【国際特許分類】

C 0 8 G 18/32 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 18/32 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月29日 (2010.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(i) N , N' - ジ - (3 , 3 - ジメチル - 2 - ブチル) - 1 , 6 - ジアミノヘキサンと

、

(i i) (a) 脂環式一級ジアミン；

(b) アミノ基がアミノヒドロカルビル基であるヒドロカルビル脂肪族二級ジアミン；

(c) 脂肪族二級ジアミンおよび脂肪族一級ジアミン；

(d) 脂肪族ジイミン；および

(e) (a) から (d) の任意の 2 つ以上の組み合わせ物

からなる群から選択される成分

を含んでなる鎖延長剤組成物。

【請求項 2】

(i i) が

脂環式基は単一環を有すること；

アミノ基の少なくとも 1 つは環に直接に結合していること

の特徴の少なくとも 1 つを有する脂環式一級ジアミンである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記脂環式一級ジアミンがイソホロンジアミンである、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

(i i) が脂肪族二級ジアミンであり、ならびに前記脂肪族二級ジアミンが
ジアミンのヒドロカルビル部分は直鎖であること；

脂肪族二級ジアミンは約 10 から約 30 個の炭素原子を有すること

の特徴の少なくとも 1 つを有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

(i i) が脂肪族二級ジアミンおよび脂肪族一級ジアミンである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記脂肪族二級ジアミンが

ジアミンのヒドロカルビル部分は直鎖であること；

アミノヒドロカルビル基は直鎖もしくは分岐鎖のアルキル基であること；

脂肪族二級ジアミンは約 10 から約 30 個の炭素原子を有すること
の特徴の少なくとも 1 つを有する、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記脂肪族一級ジアミンが
ジアミンのヒドロカルビル部分は直鎖であること；
脂肪族一級ジアミンは約 6 から約 20 個の炭素原子を有すること
の特徴の少なくとも 1 つを有する非環状脂肪族一級ジアミンである、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記脂肪族一級ジアミンが
脂環式基は単一環を有すること；
アミノ基の 1 つは環に直接に結合していること
の特徴の少なくとも 1 つを有する脂環式一級ジアミンである、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 9】

(i i) が脂肪族ジイミンであり、ならびに前記脂肪族ジイミンのイミノヒドロカルビル
リデン基が
分岐鎖アルキリデン基であること；
3 から約 6 個の炭素原子を有すること
の特徴の少なくとも 1 つを有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

(A) 少なくとも 1 つの脂肪族ポリイソシアネート、(B) 少なくとも 1 つのポリオール
および / または少なくとも 1 つポリエーテルアミン、および (C)
(i) N , N' - ジ - (3 , 3 - ジメチル - 2 - ブチル) - 1 , 6 - ジアミノヘキサン ；
(i i) (a) 脂環式一級ジアミン ；
(b) アミノ基がアミノヒドロカルビル基であるヒドロカルビル脂肪族二級ジアミン ；
(c) 脂肪族二級ジアミンおよび脂肪族一級ジアミン ；
(d) 脂肪族ジイミン ； および
(e) (a) から (d) の任意の 2 つ以上の組み合わせ物
からなる群から選択される成分
を含んでなる鎖延長剤と一緒に混合することを含んでなる、ポリマーを製造する方法。

【請求項 11】

前記ポリイソシアネートがイソホロンジイソシアネートであり、および / または (B)
が少なくとも 1 つのポリエーテルアミンである、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

(i i) がイソホロンジアミンである、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

(i i) が
脂環式基は単一環を有すること；
アミノ基の 1 つは環に直接に結合していること
の特徴の少なくとも 1 つを有する脂環式一級ジアミンである、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 14】

前記ポリイソシアネートがイソホロンジイソシアネートであり、ならびに (B) が少な
くとも 1 つのポリエーテルアミンである、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

擬プレポリマーがこの工程時に形成されるか、またはプレポリマーがこの工程時に形成
される、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 16】

(A) 少なくとも 1 つ脂肪族ポリイソシアネート、(B) 少なくとも 1 つポリオールお
よび / または少なくとも 1 つポリエーテルアミン、および (C)
(i) N , N' - ジ - (3 , 3 - ジメチル - 2 - ブチル) - 1 , 6 - ジアミノヘキサンと

、

(i i) (a) 脂環式一級ジアミン ;

(b) アミノ基がアミノヒドロカルビル基であるヒドロカルビル脂肪族二級ジアミン ;

(c) 脂肪族二級ジアミンおよび脂肪族一級ジアミン ;

(d) 脂肪族ジイミン ; および

(e) (a) から (d) の任意の 2 つ以上の組み合わせ物

からなる群から選択される成分と

からなる鎖延長剤を含んでなる成分から形成されるポリマー。

【請求項 17】

前記ポリイソシアネートがイソホロンジイソシアネートであり、および / または (B) が少なくとも 1 つのポリエーテルアミンである、請求項 16 に記載のポリマー。

【請求項 18】

(i i) がイソホロンジアミンである、請求項 16 に記載のポリマー。

【請求項 19】

(i i) が

脂環式基は単一環を有すること ;

アミノ基の 1 つは環に直接に結合していること

の特徴の少なくとも 1 つを有する脂環式一級ジアミンである、請求項 16 に記載のポリマー。